

第3回 国際理解教育勉強会

1月25日(土)にJICA北陸で、国際理解教育を北陸地域に広めていく勉強会を開催しました。今回は今までと違い、それぞれのセッションで沢山グループディスカッションを行いました。やり方に正解のない「教育」について、沢山価値観・考えを交流し、そして一気に深め、グループでまとめていきました。かなり活発に意見交換が行われたこともあり、短時間でしたが、得るものが多い会となりました。

国際的な要素を持った学習をもっと学校で実践していきたい!もっと学んで考えたい!と思っている方々が本勉強会には参加されていますが、先生だけでなく大学生など興味のある方ならどなたでも参加して頂けます。高い意識と強い意欲を持った方たちがつながり、切磋琢磨していける場になりますので、国際理解のセミナーや授業をやってみたい!学んでみたい!と思っている方は次回以降ぜひご参加ください!

今回のテーマ

1. 海外研修を通じたグローバル人材育成 (講師:北陸大学 教授)
2. モンゴルに行った経験を授業(環境教育)にして学校で実践! (講師:石川県立いしかわ特別支援学校 教諭)
3. もし制約がないとしたら、どんな教育をしてみたい? (ディスカッションのみ 講師:白山市立蝶屋小学校 教諭)
4. アメリカの小学校教育と日本の小学校教育 比較してみました (講師:金沢学院大学 講師)



北陸から国際協力を発信!

News Letter Spring
2020 春号

JICA北陸's World



金沢大学での記者会見の様子



検診風景



講義の様子

草の根技術協力事業

ベトナム

枯葉剤・ダイオキシン濃厚汚染地区における低体重児の発育改善プロジェクト

このプロジェクトは、ベトナム戦争時に枯葉剤によって汚染された濃厚汚染地区の一つビンディン省フーカット県において、戦後40年以上経過した現在も枯葉剤に含まれていたダイオキシン類の影響下にある低体重児の発育改善を支援するため、金沢大学の城戸照彦客員教授(プロジェクトマネージャー)を中心に、現地の医療関係者等の人材育成を行うものです。2019年8月に開始された同プロジェクトは、直ちに関係者(金沢大学、フーカット県立医療センター、ハノイ医科大学、ベトナム国家大学など)がハノイで一堂に会し連携体制を確立し、9月、12月に現地研修、10月には本邦での研修を行いました。



SDGsへ取組む各事業を紹介

今回は  の目標に取り組んでいる2つの案件



新年度のごあいさつ

今年、オリンピック・パラリンピックの年。世界中から多くの方々が日本にお越しになります。この機会に、全世界で200にもわたる国・地域の方々と一緒に多岐にわたるつながりませんか。JICA北陸は今年も北陸と世界を「チュー」なぐための役割を果たしてまいります。



北陸センター (JICA北陸)
所長 菊地 和彦



今年も北陸と世界をつなぎます
ONE TEAM! JICA北陸

研修員受入事業 石川県立看護大学

日系社会研修(パラグアイ)

高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成コース

青年研修(カンボジア)

地域保健医療実施管理コース

南米では、日系移住者の高齢化が進み、日本人会の高齢者福祉ボランティアがデイサービス等の取り組みを継続して実施し、高齢者福祉の大きな役割を担っています。日系社会研修では高齢者福祉制度やケアシステムなどを講義で学びつつ、羽咋市で社会福祉施設など多様な機関を視察します。13年にわたる研修員への支援・交流を通じ、パラグアイで日系社会の高齢者の介護予防に更に協力したいという思いを抱いた石川県立看護大学は草の根技術協力事業に応募し、2019年に実施が決定しました。また2012年から将来を担う若者を対象とした青年研修も受け入れていただき、今年度はカンボジアを対象として実施しました。研修員は日本の医療制度や実際の現場での活動の視察を通して自国の課題解決に向けて知識を深める機会を得ました。



青年研修(カンボジア)
地域保健医療実施管理コース
視察風景



日系研修(パラグアイ)
高齢者福祉におけるケアシステムと
人材育成コース 視察風景



独立行政法人 国際協力機構 北陸センター(JICA北陸)

〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2 リファール(オフィス棟)4階
TEL 076-233-5931 FAX 076-233-5959
JICA北陸ウェブサイト <http://www.jica.go.jp/hokuriku/>

Find us on 

 JICA北陸



こちらからアクセスしてね!



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用